



**いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 2024 in 建長寺
開催報告書**

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

1

1

御礼

みなさまにおかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。
建長寺にて、令和6年3月11日「いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 2024in建長寺」を大盛況のうちに終えることができました。ご参加いただいた皆様、またご尽力いただいた皆様、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

全国から地方創生に関わる方々が集結する「地方創生の祭典」となり、建長寺の佇まいも手伝い、チャレンジャーを含めた発表者、参加者、裏方全員が素敵な表情であったことが印象的でした。私たち、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトは、今後もJAPAN CHALLENGER 7名を1年間サポートをして参ります。軌道に乗せるまで伴走していきます。

次年度も、「いざ鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD 2025」を開催する予定です。さらにバージョンアップしたプログラムを計画しております。今後とも地方創生を目指す地域起業家や地域のワカモノの発表の場を提供し、かれらの地方創生事業の「スイッチ」を入れる機運醸成を行っていきます。私たちのミッション「地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功すること」を実現するため、全力で進めてまいります。

これからもどうぞ、みなさまのご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD2024プロデューサー
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事
中川直洋

2

2

JAPAN CHALLENGER プロジェクトとは

JAPAN CHALLENGER AWARDとは

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。令和2年度は、コロナ感染防止下での限定的な開催となりました。



令和5年度 実施開催地

とやまワカモノサミット2023

SETOUCHI CHALLENGER AWARD
くまもと CHALLENGER AWARD
銚子発！ JAPAN CHALLENGER AWARD
京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD

京丹後発！ ICT×地h創生甲子園

JAPAN CHALLENGER COLLEGE in長野
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in静岡
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in和歌山
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in京都府
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in愛知
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in高知
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in熊本
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in三重
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in滋賀
JAPAN CHALLENGER COLLEGE in兵庫



3

3

開催概要

開催概要

いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2024 in 建長寺

■日時：令和6年3月11日（月）

■場所：建長寺（神奈川県鎌倉市山ノ内8）

■参加方法：オンライン参加費：2,000円

■主催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■後援：内閣府、経済産業省、総務省、農林水産省、観光庁、デジタル庁、神奈川県、鎌倉市 東京証券取引所

■運営：JAPAN CHALLENGER AWARD事務局

■YouTube配信 <https>



4

4

ブラッシュアップセッション

個別サポート

リモートにて、チャレンジャー1名ずつと、個別指導を通じた事業プランのブラッシュアップを2度行いました。

当団体では、ビジネスモデルをブラッシュアップするためのノウハウと、事務局の1対1での手厚いサポート体制を強みとしています。その強みを活かしながら個別セミナーでは、チャレンジャーのビジネスアイデアを、共にビジネスモデルに落とし込み、さらにそのビジネスモデルをブラッシュアップしました。

上記の丁寧な個別セミナーにより、本番までにより実現可能性の高いビジネスモデルにし、発表の質を上げることで、審査員や観客からの納得感を醸成しました。

- 実施日：1回目 2月中旬
2回目 2月下旬～3月上旬

- 実施時間：各1時間～1時間30分

5

5

チャレンジャー7組 紹介



6

6

審査員 紹介

<p>藤野 英人 公益社団法人 ジャパンチャレンジャー プロジェクト 会長 SUPER ADVISOR レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長 兼 社長 CEO&CIO</p>	<p>柳澤 大輔 公益社団法人 ジャパンチャレンジャー プロジェクト 副会長 SUPER ADVISOR 面白法人カヤック 代表取締役CEO</p>	<p>中川 めぐみ SUPER ADVISOR 株式会社ウオー 代表取締役</p>
<p>野口 真理子 SUPER ADVISOR 株式会社博報堂 テーマビジネスデザイン局 ビジネスプロデューサー</p>	<p>村口 和孝 公益社団法人 ジャパンチャレンジャー プロジェクト 理事 SUPER ADVISOR 株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ 代表</p>	<p>渡邊 智恵子 SUPER ADVISOR 一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー 代表理事</p>

7

チャレンジャー1番 埼玉県小川町発！小田穂



小田穂さん (NPO法人霜里学校理事長) 「真の持続可能を体現する」



小川町生まれ育ち、団体の代表として、廃校管理、移住サポートセンター/観光案内所 運営しています。都心から近い地方。知名度の低い小川町の有機農法、食材について、今後の事業プランを発表いただきました。その先には、有機農業を軸にした各事業が加速し、小川町が有機農業ブランドを確立。企業と地域/農家が共に歩み、ブランドを確立するプロセスで持続可能な体制を目指します。

<p>自己紹介：小田 穂 埼玉県小川町生まれ・育ち 【小川町】 NPO法人霜里学校 代表理事 ・移住サポートセンター/観光案内所 運営 【国・大企業】 福島県産品に対する国産特産物プロジェクト（専従者 産地連携プロジェクト） 毎年全労連主催「国産特産物イベント」（アースデイ東京） 大手企業主催まちづくりプロジェクト（LIFULL/日本鞋専科開発/etc）</p>	<p>小川町の有機農業 日本経済新聞 特集 平成天皇陛下 行幸啓 移住相談件数 埼玉県2年連続1位</p>
<p>その先には・・・ 農業レストラン 有機野菜提供 健康経営推進 産地連携 有機農業を軸にした各事業が加速し、小川町が有機農業ブランド確立</p>	<p>ご協力いただきたいこと 有機農業に親和性のある企業をお繋ぎください 小川町が有機農業でブランディングを確立するためのアイデアをお貸しください</p>

8

チャレンジャー2番 京都府京丹後発！足立樹律



足立樹律 蒸（-五箇サウナ-） 「地域のコミュニティをつくる村の 銭湯のようなサウナ屋」

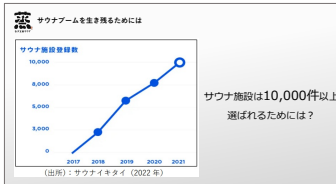
地域おこし協力隊として移住。広告代理店をへてサウナの業界で修行し、縁あって京丹後へ。サウナを、集落を残すための武器にスローガンに、村をそのまま生かす。わざわざ都心からでも来なくなる究極のサウナ。地域貢献としては、毎週月曜日は“銭湯のようなサウナ屋”を営業しています。今後、この事業モデルをさらに地域へ広げていくプランを発表いただきました。



蒸 自己紹介
 足立 樹律
 アダチ キリ
 京都府 京都市 出身

これまでのキャリア
 メーカー (東京)
 広告代理店 (東京)
 サウナ施設 (長野)

蒸 施設紹介



蒸 地域の盛り上げをするために...

毎週月曜日は
“銭湯のようなサウナ屋”

チャレンジャー3番 静岡県小山町発！平山佳誉・鈴木天華



平山佳誉・鈴木天華 (静岡県立小山高等学校 1年) 「営農型太陽光発電のための実践コミュニティの確立」

地元高校生が起業に興味を持ち、小山町の環境と活性化を融合させた事業プラン。地元名産の苺と富士山を持つ小山町で、さらにJKの注目を意識した商品開発としていちご飴を提案。具体的に地元で活気のある道の駅で販売し、映える場所として富士山といちご飴の撮影スポットも紹介いただきました。



きっかけ

2023年 12月10日(日)
 JAPAN CHALLENGER COLLEGE
 IN 富士スピードウェイ

ビジネスプラン

【営農型太陽光発電×小山町産いちご】
 ①ターゲット：高校生や、若い世代
 ②SNS映える商品

➡ **いちごあめ** ...小山町の特産いちご「貴姫」を使用

➡ **地域活性化**

商品内容

◎いちごあめ
 ・トキ消費
 ・SNS映えに特化

富士山をイメージ
 名前：あかふじ灰
 カラフルに飴を着色

【価格】
 ・1個300円

【企業】
 ・小山町のお菓子屋さんとコラボ

➡ **地域活性化**

販売方法②

【新しい丘公園】
 ◎小山町屈指の映えスポット
 ➡いちごあめと富士山で映える写真でSNSで宣伝効果が得られる

チャレンジャー4番 高知県発！中島匠一



中島 匠一 (株式会社ブランド高知 代表取締役社長) 「カメラにご当地キャラクターが現れる魔法のカード」



ブランド高知で、財布などを商品化して本格事業へ。自身は発明家として様々な商品を開発してきている。今回は、スマホをかざすだけで、リアルな3Dが目の前に現れるカード、MUGEN POCKETを開発。地方創生事業としては、須崎市と協定を締結して、全国に広げる事業プランを発表いただきました。



高知県須崎市役所と地域協定を締結予定
初の自治体での取り組みは須崎市から！そして日本中へ！



チャレンジャー5番 山形県発！清水紘輔



清水 紘輔 (山形県立東桜学館高等学校) 「HUGROID ハグを返してくれる抱き枕」



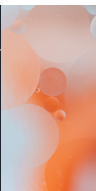
私たちが普段できないことを情報技術を用いて、体験可能にするビジョンを掲げ、何もしたくないけど、休んだ気がしない。夜、なかなか寝付くことができない。眠りが浅く感じてしまう。という課題を持つ人は多い。この課題解決に着眼したのが「抱き枕ならぬ抱かれ枕の開発」商品は開発中であるが、マーケティング戦略や競争の優位性など具体的な事業モデルを発表いただきました。

VISION

私たちが普段できないことを情報技術を用いて、体験可能にする

- うまく人間の能力を引き出す器具
- 思わずやる気になってしまうコンテンツ
- 現実では起こりえない現象の疑似体験

⇒ 研究活動→ロマン追究
良い成果は社会実装



目の付け所

- クロスモーダル 現実と仮想、現実と現実など人間の感覚に互いが相互に作用し合う現象のこと
- Virtual Realityの活用 あり/不存在は現実そのものではないが、体験的あるいは他者によるは現実であり異物であること

プロダクト

寝室 ベッドへ行く ハグをする セクビー

Future Milestone

シード・R&D期 → アーリー → ミドル

- シード・R&D期: 基礎プロトタイプ、VRでの研究発表、大学での発表・実証、クラウドファンディング
- アーリー: 競合分析・SRM、Maker Faire出席、クラウドファンディング、Pop-up
- ミドル: 研究発表・VRユーザーとの連携、to Bビジネスの実現、新規事業実行

Points

- 研究発表: 九州大学の教授と連携し、有効性を実証、学会発表にて行進の議論
- 時代に合わせた訴求方法の選択: 若年層にはPop-up、高齢層にはB2C店、VRユーザー層にはMaker FaireやVRサークル



チャレンジャー6番 和歌山県田辺市発！奥川季花



奥川季花 (株式会社ソマノベース 代表) 「林業を通して、土砂災害の人的被害をゼロに」

高校生の時に震災で友人を亡くし、林業を通じて土砂災害の人的被害をなくすをミッションに、3年前に起業。林業の課題を発見し、事業領域を決めて、「戻り苗」事業をスタート。全国に広がり、起業や行政との連携へと拡大。ここから「スケール」へ……。4000万円収益モデルを短期では数億、長期ビジョンは40億円事業へと挑戦していきます。



林業を通して
土砂災害の人的被害をゼロに

ソマノベース

2020.2.11 第1ソマノベース 創業者



木を育てて、
未来に残す
新しい観葉植物。

MODRINAE

WOOD CHANGE
AWARD 2020

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2022

MODRINAE BUSINESS

チャレンジャー7番 三重県鳥羽市発！間瀬雅介



間瀬雅介 (株式会社REMARE 代表取締役) 「海洋プラスチック再資源化システム開発」

原点は、海洋ゴミを焼却、埋め立てされている難処理プラスチックの再資源化システムを開発することから始まりました。選別せずに再資源化できる、可変式加熱器を開発・この結果、今まで焼却していた融点が違う廃棄プラを再資源化できる。そのために自社で樹脂産業の6次産業化プラントを設計開発し、あらゆる課題を解決し、今後さらに大きく挑戦していくとの発表。



会社概要

代表

間瀬 雅介

1982年生
化学工学科
元技術士
機械士
建築士
（建築士）

解決

自社で樹脂産業の6次化プラントを設計開発。

- 排出する素材の材質、量に合わせて最適化プラント導入が可能。
- 廃棄プラスチックの再資源化プラントを作ることでCO2、物流コスト削減
- 他社比較プラント費用1/3 (機械費、オペレーション不要、メンテナンス)

本社工場

実績

消費者向けプロダクトへ再資源化

商品開発事例

競合優位性

機械、プラント、成形データを自社開発することで初期導入コストが安い。機展可可能。

ローカルサポーター

全国から鎌倉に結集した「いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARDin建長寺」のチャレンジャーたち。彼らチャレンジャーは地域を拠点に公民連携事業として活動しているケースが多く、拠点となる自治体等から応援メッセージが届き、ビデオレターで応援していきます。自治体首長など、独自の応援合戦で、会場はとても盛り上がりました。地域起業家にとって重要なのは、いかに地域を巻き込むか。それを実践しているのがよくわかります。



小田穂さん応援
埼玉県小川町 島田康弘町長



足立樹律さん応援
京都府京丹後市 中山泰市長



平山佳誉さん・鈴木天華さん応援
静岡県小山町 込山正秀町長



中島匠一さんの応援
高知県須崎市 楠瀬耕作市長



中島匠一さんの応援
(株)バンクチュアル守時健社長



清水鉦輔さん応援
桐朋高校 稲田孟さん



奥川季花さん応援
和歌山県田辺市 真砂充敏市長



間瀬雅介さん応援
三重県鳥羽市 中村欣一郎市長

15

レセプション（ランチ交流会）からオープニング



けんちん汁発祥の地である建長寺
点心庵にてランチ・レセプション



現代的なエンターテインメント・シエイ
クスピア劇団 カクシンバン



出場するチャレンジャーたち



建長寺部長のご挨拶



藤野実行委員長挨拶



柳澤審査員長挨拶

16

16

過去チャレンジャー・ゲスト

前回のチャレンジャーが一同に集まりました。皆さん手弁当です。1年間、事務局は定期的なミーティングを行い、またアドバイスや事業サポートをしてきました。この1年でさらに成長し、事業も本格化してきました。理事の会社がチャレンジャーに出資するなど経営、資金面でも全面的にサポートしています。2年間サポート続きます。



第3回チャレンジャー仙田大騎



第3回チャレンジャー藤村幸澄



第1回チャレンジャー濱田祐太



第1回チャレンジャー八重



第1回チャレンジャー 荒木崇



ゲスト：山本亮

17

17

投票



18

18

フィナーレ



今回グランプリを獲得したのは、奥川季花さんです。今後奥川さんがどのような事業展開をしていくのか、楽しみです。グランプリには30万円の事業支度金が授与されます。公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト、審査員は、今後、全てのジャパンチャレンジャーのサポートもしていきます！



19

19

写真 (AWARD)



20

20

写真 (AWARD)



21

21

出演者

JAPAN CHALLENGER

小田 穂 (NPO法人霜里学校理事長)
真の持続可能を体現する

足立 樹律 蒸 (-五箇サウナ-)
地域のコミュニティをつくる村の銭湯のようなサウナ屋

平山 佳誉・鈴木 天華 (静平山県立小山高等学校 1年)
営農型太陽光発電のための実践コミュニティの確立

中島 匠一 (株式会社ブランド高知 代表取締役社長)
アプリ不要。カメラにご当地キャラクターが現れる魔法のカード

清水 紘輔 (山形県立東桜学館高等学校)
HUGROID ハグを返してくれる抱き枕

奥川 季花 (株式会社ソマンベース) 代表取締役
林業を通して土砂災害による人的被害をゼロに

間瀬 雅介 (株式会社REMARE 代表取締役)
海洋プラスチック再資源化システム開発

特別ゲスト

山本 亮 (輪島市 株式会社百笑の暮らし 代表)

ゲスト (オープニングアクト)

木村 龍之介 (株式会社トゥービー)

ゲスト (過去チャレンジャー)

荒木 崇 仙田 大騎 濱田 祐太 藤村 幸澄 八重

JAPAN CHALLENGER 審査員

実行委員長
藤野 英人 (会長理事)
レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役 会長兼社長
最高投資責任者 (CIO)

審査委員長
柳沢 大輔 (副会長理事)
面白法人カヤック 代表取締役CEO

審査員
村口 和孝 (理事)
株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ 代表
中川 めぐみ
株式会社ウオー 代表取締役
野口 真理子
株式会社博報堂 ビジネスプロデューサー
渡邊 智恵子
一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー 代表理事

司会

平野 裕加里、仲木 威雄

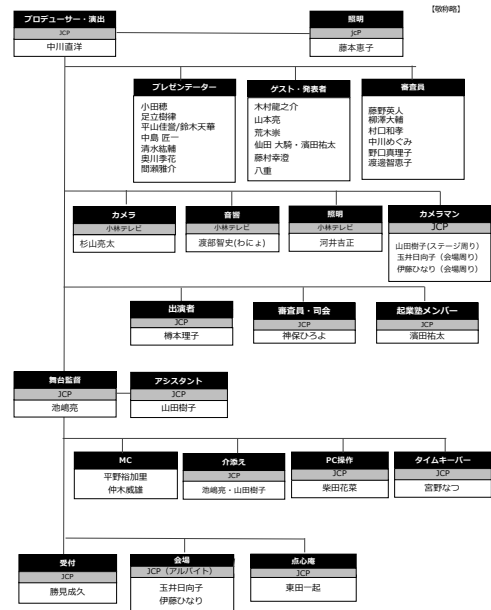
22

22

スタッフ（組織図）

運営スタッフ一覧

総合プロデューサー 演出・音楽	: 中川直洋
プロデューサー会場運営	: 勝見成久
アソシエイトプロデューサー	: 松井大介
チーフディレクター 舞台監督	: 池嶋亮
ディレクター	: 越智総一郎
ディレクター	: 山田樹子
ディレクター (チャレンジャー)	: 樽本理子
ディレクター 進行	: 柴田花菜
ディレクター 審査員担当	: 濱田祐太
ディレクター (レセプション)	: 東田一起
アシスタントプロデューサー	: 神保ひろよ
アシスタントディレクター	: 玉井日向子 伊藤ひなり 宮野なつ
運営・収録・音響・照明	: 杉山亮太 河井吉正 渡部智史



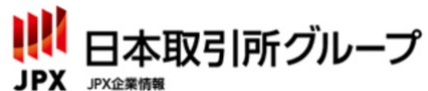
23

23

後援



農林水産省



24

サポーター



Oriai

株式会社
ピーストラベル
プロジェクト



NIPPON IT
Charity EKIDEN



25

起業家からの
挑戦状
七人の
集結
選ばれし
鎌倉チャレンジャー

2024.
3.11
(MON)

JAPAN
CHALLENGER
AWARD 2024
in 建長寺

挑戦状！

26